

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分		No.	コメント		回答	備考
			開催回	日付		
地下構造評価 地震発生層の設定	資料構成	1	1199回	2023.10.20	各種の検討に際しては、検討方針を示したうえで、検討・評価を行い、その結果を踏まえた内容を結論に記載すること。	
地下構造評価 地震発生層の設定	資料構成	2	1199回	2023.10.20	地震動評価の3要素(震源特性・伝播特性・増幅特性)の観点から、各種の調査・検討がどの要素と対応しているのか分かるように資料に記載すること。	
地下構造評価	資料構成	3	1199回	2023.10.20	解放基盤表面及び地震基盤面の設定は、地下構造モデルの設定の前提となることから、解放基盤表面の設定については、1.1節の地質・地質構造の調査において説明すること。また、地震基盤面の設定についても、解放基盤表面の設定と同様に、項目立てして、1章で説明すること。	
地下構造評価	敷地の地質・地質構造	4	1199回	2023.10.20	大深度ボーリング2孔(D-8.6孔及びK-13.6孔)の花崗岩上面の高度差が約180mであるとの調査結果を踏まえ、花崗岩上面の形状を考察したうえで、高度差が地震動へ与える影響について検討すること。	
地下構造評価	敷地の地質・地質構造	5	1199回	2023.10.20	第3'速度層・第4'速度層の影響検討について、地震動シミュレーションの検討結果に、地震観測記録を用いた検討結果も含めて、総合的に検討を行う方針を示したうえで、地震動へ与える影響の有無を示すこと。	
地下構造評価	地震波トモグラフィー	6	1199回	2023.10.20	Matsubara et al.(2022)の速度構造による地下構造の成層性及び均質性の検討においては、1-1'断面及び2-2'断面以外の断面も確認すること。	
地下構造評価	単点微動探査観測記録による地下構造の検討	7	1199回	2023.10.20	敷地の単点微動探査と水平アレー地震観測による検討結果の整合性について記載すること。	
地下構造評価	観測記録による地下構造の検討	8	1199回	2023.10.20	地震観測記録を用いた到来方向の検討について、到来方向を東西南北の4方位で検討しているが、方位を適切に区分して検討すること。また、検討に用いる地震数が少なくなる場合は、検討精度を確保できる範囲で用いる地震の拡充を検討すること。	

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分		No.	コメント		回答	備考
			開催回	日付		
地下構造評価	観測記録による地下構造の検討	9	1199回	2023.10.20		
地下構造評価	観測記録による地下構造の検討	10	1199回	2023.10.20		
地下構造評価	観測記録による地下構造の検討	11	1199回	2023.10.20		
地震発生層の設定	広域的な地震の震源分布の調査	12	1199回	2023.10.20		
地震発生層の設定	広域的な地震の震源分布の調査	13	1199回	2023.10.20		
地震発生層の設定	地震調査研究推進本部の主要活断層帯に係る知見による検討	14	1199回	2023.10.20		
地震発生層の設定	地震調査研究推進本部の主要活断層帯に係る知見による検討	15	1199回	2023.10.20		
地震発生層の設定	地震発生層の設定	16	1199回	2023.10.20		